

未来の科学技術イノベーションを担う創造性豊かな探究力を持った人材育成

～STEAM教育を推進し信州から世界へ新たな価値を創り出す～



研究開発の目的・目標

1 体系的な課題研究カリキュラム

- 課題研究のスパイラルにより高度な課題発見力・解決能力の育成
- データサイエンス、産学連携により卓越した科学的・論理的思考力、判断力、表現力の育成

2 評価検証システム

- 多角的な評価方法の開発
- 科学技術人材育成に有効な指導方法の確立

3 成果普及のためのネットワーク

- NAGANOサイエンスコンソーシアムの構築
- 地域全体の科学リテラシーの向上
- グローバルな視点を生かした課題解決力の育成

信州から始まるイノベーション

具体的な取組

屋代高校

附属中学校



科学技術人材育成

■ 課外活動

高校：理化班・天文班・物理班
 中学：科学班

■ 科学系コンテストへの参加

全国レベルの大会に参加
 科学的能力の伸長

■ 科学オリンピックへの参加

理数科生は全員、普通科生は希望者が参加

■ SSH校との交流や成果の発表

- ・ 課題研究発表会
- ・ 研修会
- ・ 各種学会への参加

■ サイエンススタッフの活動

生徒が自主的にSSH事業を企画・運営



連携機関

信州大・長野県立大・東北大・東京大菅天文台・東京大 大気海洋研究所・茨城大 戸隠地質化石博物館・松代地震観測所・長野県農業大学校
 フォッサマグナミュージアム
 ハーバード大・カリフォルニア大・スタンフォード大・SIAC国立加速器研究所・NSAエイムス研究センター
 (株)明星セメント・(株)日置電機・キオクシア(米国)
 各種研究会、学会
 卒業生